



絆の草中

11

草野中学校だより

発行責任者 校長 丹野 英雄

第11号 令和3年2月18日発行



過日、いわき市青少年育成市民会議平地区推進協議会草野支部の 鈴木 智明 支部長様 から「第33回社会を明るくする標語展」入賞者9名の代表である 赤塚 歩 くん、また、文化面で実績をあげた「青少年育成市民会議平地区推進協議会草野支部特別報奨者」14名の代表である 大平 真結子 さんに、それぞれ賞状が手渡されました。

さらに、草野地区体育協会の 後藤 光男 会長様 から、運動面で実績をあげた「草野地区体育協会特別報奨者」36名の選手代表である 松田 友太郎 くん、賞状が手渡されました。文化面・運動面で、草中生の活躍を心強く感じます。

もう少しすると3月を迎えます。3年生にとっては中学校で過ごす最後の月になります。自分の進路を実現するために、また4月からの新たな生活を充実させるためにも残された期間を大切に使うしてほしいと思います。

例年だと、2月下旬に同窓会長様をはじめ役員の方々が臨席のもと、同窓会入会式を開催していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため見合わせることにしました。ただし、3年生には同窓会より卒業証書ホルダーが贈呈されます。卒業式は感染対策を万全にした上で、時間と規模を縮減して実施する予定で準備を進めています。

3年生には、保護者の皆さんや下級生が見守る中で巣立ってほしいと思います。そのためには、「新しい生活様式」を踏まえた感染防止対策が欠かせません。マスク着用、手指消毒や換気の徹底、できうる限りのソーシャルディスタンス(人と人との距離)の確保によって、新型コロナウイルスを封じ込め、感動に満ちた卒業式を創り上げましょう。

1・2年生にとっては、3年生を送り出し、進級に備える重要な月になります。4月からは新入生を迎えます。上級生として、学習面でも生活面でも新入生の手本となって活躍できるよう今のうちから準備をしておくよう期待しています。

まもなく3月 巣立ちの季節、まとめの時期を迎えます

「あなたならどうする？」 考え、議論する道徳の授業

これまでの道徳の時間は、読み物の登場人物の気持ちを読み取ることで終わってしまっていたり、望ましいと思われることや決まり切ったことを生徒に言わせたり書かせたりするだけの授業になりがちだと指摘を受けることがありました。

生徒たちは生活を通して、道徳的に何が正しいことなのか、そして、それが簡単には実現できないことを感覚的に知っています。「こうあるべきだ。」と分かっているのに、そう行動できない自分がいるわけです。「それは、なぜなのか？」深く自分自身に問いかけさせてみる。そして、自分との関わりでその問いに向き合わせる。「自分ならどうする？」と、真正面から問い、自分自身のこととして、多面的・多角的に考えさせる道徳の授業。さらに、同じ問いに周囲の仲間とは、どのような捉え方・考え方をしているのか共有することで多様な考えに触れる道徳の授業。今、求められているのは、こうした「考え、議論する道徳の授業」です。

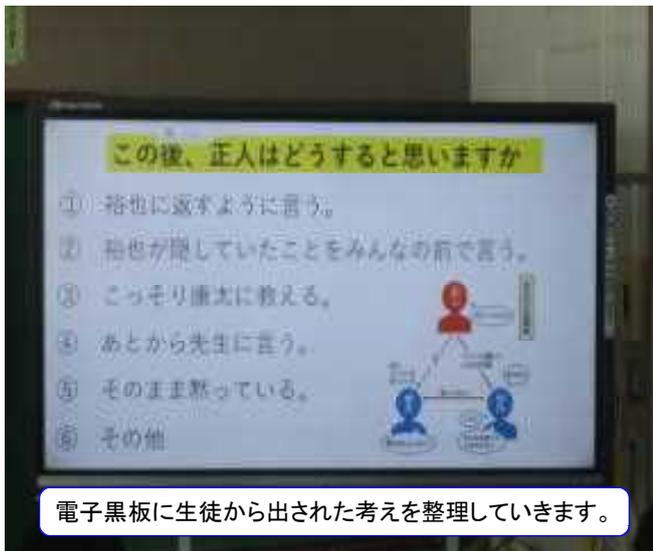
先日、1年生の道徳の授業を参観しました。放課後、気に入らない男子の持ち物を隠して困らせようとしている級友の姿を、教室でたまたま見かけてしまった主人公。「誰にも言うな」と、口止めをされます。翌

日、隠された物が見つからない男子が学級で騒いでいます。そういったストーリーでした。

「あなたならどうする？」先生は、こう問いかけます。『隠した本人に返すように言う。』『隠していたことをみんなの前で言う。』『隠された子にこっそり教える。』『あとから先生に言う。』『そのまま黙っている。』日常で起こり得ることが教材となっていますから、生徒からは、さまざまな答えが出てきます。

「口止めされてるのに言い出せる？」先生は、揺さぶりをかけます。あるべき姿は分かっている、なかなか、思った通りに行動に移せない自分。間違っていると分かっているも周囲の目を気にして正義を貫けない自分。自分より強い者の主張に流されてしまう自分。「わたしならこうする。」その答えを導くために、葛藤する生徒の姿がありました。

こうした学びは、道徳教育の目標である「自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う」ことそのものにつながるものであると思います。本校では、学校を挙げて「伝え、教える道徳」から「考え、議論する道徳」への転換を図っていきます。



電子黒板に生徒から出された考えを整理していきます。



先生は、生徒の心を揺さぶる問いかけをしています。

【教育目標】

自ら学び、考え、正しく判断できる生徒
絆を大切にし、思いやりを持って行動できる生徒
進んで運動し、心身ともに健康な生徒



〒970-0101

福島県いわき市平下神谷字宿25番地

TEL 0246-34-2208 FAX 0246-34-2771

E-mail : kusano-jh@city.iwaki.lg.jp